

1 事業概要

		課等No.	24	事業No.	385
事務事業名		水道維持管理事業	会計	水道事業会計	
担当課等名		水道課	事業区分	経常	実施区分 継続
			開始	終了	
根拠	主要区分	主 記号	計画等名称		
	戦略計画				
	分野別計画	○	飯田市水道ビジョン		
			飯田市水道事業経営戦略		
法令・例規等		水道法第1条			
事業目的	対象	上水道事業及び簡易水道事業施設			
	意図	適正に施設を維持管理することにより、公衆衛生及び生活環境の向上を図る			

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)		水道事業は、全般的に専門技術、知識が必要とされますが、職員の退職・人事異動により十分な指示ができなくなる恐れがあり、後継技術者の養成が急務です。				
29年度取組	取組内容		経費の内容			事業費(千円)
	安全安心な水を、断水することなく継続的に供給し、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図ることを目的とし、水需要者の満足度の高い水道水が供給できるよう、水道施設を効率よく、かつ安全に管理し、水道施設全般における維持管理を行います。		水質検査(水道)			32,152
	・水質検査 定期検査 104 箇所 毎日検査 (3項目) 52 箇所		水質検査(簡水)			20,720
	・浄水場・配水池及び関連施設維持管理業務 水源管理 14箇所 外構衛生 201箇所 運転監視 1式		浄水場・配水池及び関連施設維持管理業務(水道)			200,000
			浄水場・配水池及び関連施設維持管理業務(簡水)			15,750
			その他の経費			0
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	水質検査	%	100			
	浄水場・配水池及び関連施設維持管理業務	%	100			
29年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額			
	事業費 計		268,622			
	国庫支出金		0			
	県支出金		0			
	地方債		0			
	その他		0			
一般財源		268,622				
		特定財源内訳及び補足事項				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額	中事業名(科目名称)
							現計予算額	
1	71	3	1	1	17	0	232,152 0	原水及び浄水費(水道事業)
2	71	4	1	1	17	0	36,470 0	原水及び浄水費(簡易水道事業)
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 385 事業名 上水道維持管理事業

水道課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		浄水場・配水池及び関連施設維持管理業務委託実施手順書	定常・緊急を含めた適切な実行管理。	○	○
電気の消費	○			×		×		×						
浄水汚泥の収集運搬処理	○			×	×						妙琴浄水場の浄水汚泥の排出。産業廃棄物管理票(マニフェスト)の管理。点検月 7,12月		○	○
汚泥上水の配水	○			×			×							
廃棄物の発生	○			×	×									
し尿及び雑排水の発生	○			×	×		×							
浄水の異常・浄水機能の喪失			○	×	×					○				
浄水汚泥の流出			○	×			×							

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準で)			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・的確な維持管理によって、水道水の安全、安心、安定供給が持続され、生活環境の保全が図られます。	浄水(水道水)の水質を常に水道法基準値を遵守する		定常・緊急を含めた適切な実行管理。	妙琴浄水場にて臭いが残る事案があったが、水道法基準値は守られた。	○	適切な管理により、水道法に定められた、水質の水道水の供給ができた。 浄水汚泥も適切に処分ができた。	○

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		建設工事に係わる資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	請負額500万円以上の土木工事の場合に、下伊那地方事務所へ通知	○	○
建設発生土	○							×						
建設廃棄物	○				×		×							
軽油・ガソリンの使用	○			×		×		×			公共工事環境配慮評価シートによる配慮率 80%以上		○	○
騒音・振動・排気ガスの発生	○			×										
環境に配慮した設計積算、施工監督	○			○○		○	○	○	○	○				
水道管等の破損・離脱			○	××										
建設機械からの油類流出			○	×			×							

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・再資源化、廃棄物の不適切処理、典型7公害の発生のリスクがあります。 ・再資源化による、資源の保全が図られます。 ・水道施設工事における、環境配慮設計積算、施工監督により、周辺環境の保全が図られます。 ・無事故により、安全な生活環境の保全が図られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事の設計積算及び施工監督を常に 環境影響の環境配慮率80%を目標に行う 	年間を通じて環境に配慮した設計を行う	環境に配慮した設計により発注ができた	○	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音低振動型の機械を使用して工事が行われた。 市民への適切な情報提供により、苦情なく工事ができた。 	○	

(環境ISO管理)

事業No. 387 事業名 送水能力強化事業

水道課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		建設工事に係わる資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	請負額500万円以上の土木工事の場合に、下伊那地方事務所へ通知	○	○
建設発生土	○							×						
建設廃棄物	○				×		×							
軽油・ガソリンの使用	○			×		×		×			公共工事環境配慮評価シートによる配慮率 80%以上		○	○
騒音・振動・排気ガスの発生	○			×										
環境に配慮した設計積算、施工監督	○			○○		○	○	○	○	○				
水道管等の破損・離脱			○	××										
建設機械からの油類流出			○	×			×							

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・再資源化、廃棄物の不適切処理、典型7公害の発生のリスクがあります。 ・再資源化による、資源の保全が図られます。 ・水道施設工事における、環境配慮設計積算、施工監督により、周辺環境の保全が図られます。 ・無事故により、安全な生活環境の保全が図られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事の設計積算及び施工監督を常に 環境影響の環境配慮率80%を目標に行う 	年間を通じて環境に配慮した設計を行う	環境に配慮した設計により発注ができた	○	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音低振動型の機械を使用して工事が行われた。 市民への適切な情報提供により、苦情なく工事ができた。 	○	

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		建設工事に係わる資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	請負額500万円以上の土木工事の場合に、下伊那地方事務所へ通知	○	○
建設発生土	○							×						
建設廃棄物	○				×		×							
軽油・ガソリンの使用	○			×		×		×			公共工事環境配慮評価シートによる配慮率 80%以上		○	○
騒音・振動・排気ガスの発生	○			×										
環境に配慮した設計積算、施工監督	○			○○		○	○	○	○	○				
水道管等の破損・離脱			○	××										
建設機械からの油類流出			○	×			×							

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・再資源化、廃棄物の不適切処理、典型7公害の発生のリスクがあります。 ・再資源化による、資源の保全が図られます。 ・水道施設工事における、環境配慮設計積算、施工監督により、周辺環境の保全が図られます。 ・無事故により、安全な生活環境の保全が図られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事の設計積算及び施工監督を常に 環境影響の環境配慮率80%を目標に行う 	年間を通じて環境に配慮した設計を行う	環境に配慮した設計により発注ができた	○	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音低振動型の機械を使用して工事が行われた。 市民への適切な情報提供により、苦情なく工事ができた。 	○	

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		建設工事に係わる資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	請負額500万円以上の土木工事の場合に、下伊那地方事務所へ通知	○	○
建設発生土	○							×						
建設廃棄物	○				×		×							
軽油・ガソリンの使用	○			×		×		×			公共工事環境配慮評価シートによる配慮率 80%以上		○	○
騒音・振動・排気ガスの発生	○			×										
環境に配慮した設計積算、施工監督	○			○○		○	○	○	○	○				
水道管等の破損・離脱			○	×	×									
建設機械からの油類流出			○	×			×							

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順		進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・再資源化、廃棄物の不適切処理、典型7公害の発生のリスクがあります。 ・再資源化による、資源の保全が図られます。 ・水道施設工事における、環境配慮設計積算、施工監督により、周辺環境の保全が図られます。 ・無事故により、安全な生活環境の保全が図られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事の設計積算及び施工監督を常に 環境影響の環境配慮率80%を目標に行う 	年間を通じて環境に配慮した設計を行う	環境に配慮した設計により発注ができた	○	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音低振動型の機械を使用して工事が行われた。 市民への適切な情報提供により、苦情なく工事ができた。 	○	